

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 総胆管結石に対する経乳頭的内視鏡治療の検討
研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2025年5月11日
研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2018年4月から2024年3月までの間に、当院で総胆管結石症に対する内視鏡的治療(ERCPによる治療)を行った患者さんのうち、消化管再建術(一部を除く)を受けたことがない患者さん。

2. 研究目的・方法

現在、総胆管結石症に対しては内視鏡的治療が標準治療として広く行われており、近年では高齢者に対して治療を行う機会も多くなっています。結石を全て取り除くことが治療の目標ですが、重篤な持病や認知症がある場合には、長時間や複数回の内視鏡治療は困難です。そのため、特に結石が大きかったり多数あったりするような治療困難例では、ステントを胆管内に長期留置して経過観察することもあります。

今回、当院で総胆管結石症に対する内視鏡治療を行った患者さんの診療録から情報を抽出し、消化管再建術(一部を除く)を受けたことがない患者さんにおける内視鏡治療成績とその方針について検討したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別などの基本情報、病歴、治療歴、治療成績、偶発症等の発生状況

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
浜松医療センター 消化器内科 鈴木 安曇(研究責任者)
住所: 静岡県浜松市中央区富塚町 328
電話: 053-453-7111(病院代表)

2024年10月29日作成